

令和8年度全国児童自立支援施設職員研修実施要綱

「こどもの育ちをつなぐ職員のみなざしと、施設の役割」

1. 目的 児童自立支援事業に対する認識を深め、職員としての専門的知識を習得し、職務遂行能力および自己啓発意欲を高めることを目的とする。
2. 主催 こども家庭庁支援局
3. 運営 国立武蔵野学院附属人材育成センター
4. 場所 国立武蔵野学院又は国立きぬ川学院
5. テーマ・日程・申込み〆切 (各研修の概要は次頁以降の各研修概要のとおり)

研修種別・テーマ	期 間	募集人数	〆切
新任施設長研修〔前期：武蔵野学院 後期：きぬ川学院〕 「こどもと職員の育ちをつなぐ施設運営」 (法) ※前後期とも必修	令和8年5月12日～5月14日 令和8年10月20日～10月22日	30名	4/10 (金) 必着
スーパーバイザー研修 [武蔵野学院] 「こどもの育ちをつなぐみなざしをもつスーパーバイザーとは」	令和8年11月4日～11月6日	30名	5/29 (金) 必着
中堅職員研修 コースⅠ [武蔵野学院] 「児童自立支援施設において こどもの想いを聴くこととは」	令和8年9月14日～9月17日	30名	
中堅職員研修 コースⅡ [武蔵野学院] 「こどもの未来を支える養育とソーシャルワーク」	令和9年1月19日～1月22日	30名	
中堅職員研修 コースⅢ [きぬ川学院] 「こどもを支える養育環境と職員のメンタルヘルス」	令和8年8月4日～8月7日	8名	
中堅職員研修 コースⅣ [きぬ川学院] 「性被害の理解と支援」	令和8年9月1日～9月4日	8名	
中堅職員研修 実習コース 「こどもの想いをとらえる養育とは」			
① 第1グループ [武蔵野学院]	令和8年9月29日～10月2日	8名	
② 第2グループ [きぬ川学院]	令和8年12月8日～12月11日	6名	
新任職員研修 [前期後期ともに武蔵野学院] 「児童自立支援施設におけるこどもと職員の育ち」 ※前後期とも必修	令和8年7月22日～7月24日 令和9年2月3日～2月5日	30名	4/17 (金) 必着
新任職員研修 実習コース 「児童自立支援施設におけるこどもと職員の育ち」			
① 第1グループ [武蔵野学院]	①令和8年6月9日～6月12日	各回 8名	
② 第2グループ [武蔵野学院]	②令和8年6月23日～6月26日		
③ 第3グループ [武蔵野学院]	③令和8年7月7日～7月10日		
① 第4グループ [きぬ川学院]	④令和8年6月2日～6月5日	各回 6名	
② 第5グループ [きぬ川学院]	⑤令和8年6月16日～6月19日		
③ 第6グループ [きぬ川学院]	⑥令和8年11月24日～11月27日		
④ 第7グループ [きぬ川学院]	⑦令和9年1月12日～1月15日		
⑤ 第8グループ [きぬ川学院]	⑧令和9年1月26日～1月29日		
事例検討セミナー [武蔵野学院+オンライン] 「児童自立支援施設におけるケースカンファレンスのあり方 ～こどもと職員の育ちのために～」	①令和8年5月26日～5月27日 (参集) ②令和8年6月～令和9年2月 (毎回オンラインで2時間半程度) ③令和9年3月2日～3月3日 (参集)	8名 以内	4/13 (月) 必着

6. 参加申込み方法

- (1) 申込み：申込書（Word）に必要事項を全て入力し、メールにて申込書を送付してください。
（宛先：musashino.kensyu@cfa.go.jp）。なお、やむを得ない場合のみ、PDF 又は郵送でも受け付けます。

※必要事項が全て記入されていない場合、受け付けられないことがあります。

※申込数が募集人数を超えた場合は参加の可否について、事務局からご連絡いたします。選考の際に、経歴を参考にすることがあります。申込書の経歴の部分は詳細にお書きください。

※参加決定通知及び詳細な要綱については、参加所属長宛に概ね研修2ヶ月前に送付します。

※ここ数年、各自治体間のメールシステム・セキュリティシステムの違いから、ファイルを添付すると届かないという事態が何件もあり、申込みが漏れるということがありました。メール送信の際には、開封通知をつけるなど、確認がとれるようにして申込みに漏れないようにしていただけますようお願いいたします。

7. その他

- ・各研修で、初日に交流会を予定しています。
- ・諸般の事情により、日程及び内容、費用に変更が生じる場合がありますことを、予めご了承ください。特に費用については、昨今の状況による変動が大きくなる可能性があります。

<事務局（申込先）>

国立武蔵野学院附属人材育成センター 研修課
〒336-0963 さいたま市緑区大字大門 1030 番地
TEL 048-878-1260（音声案内2番）
FAX 048-878-1244
E-mail musashino.kensyu@cfa.go.jp

全国児童自立支援施設 新任施設長研修 「こどもと職員の育ちをつなぐ施設運営」

1. 目的 児童自立支援施設の役割を理解した上で、被措置児童等虐待の防止や人材育成等、社会からのニーズに対応できる施設運営を学ぶ研修

※「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」第81条第2項に基づく研修

2. 対象者 令和7年4月1日以降に着任した施設長および着任予定の者

3. 期間 前期 令和8年5月12日（火）～5月14日（木）
0JT 令和8年5月15日（金）～10月19日（月）
後期 令和8年10月20日（火）～10月22日（木）（前後期とも必修）

4. 場所 前期 国立武蔵野学院
0JT 各施設
後期 国立きぬ川学院

5. 内容（予定）
(1) 事前レポート課題
前期、後期ともにこどもの権利擁護に関する内容を、昨今の児童福祉行政の動きにあわせて設定する。後期については、前期からの内容について検討するものとする。

(2) 講義及び演習
児童家庭福祉行政、児童自立支援施設の歴史及び事業概論、こどもの権利擁護、こどもの養育の質の向上、被措置児童等虐待の予防、児童精神医学、こどもの暴力や性などのテーマから講義、演習を行うことで、意見交換し、議論を深めることで施設運営についての理解を深める。また、研修日程中に国立武蔵野学院、国立きぬ川学院の見学も予定している。

6. 費用 前期 16,000円程度（寝具レンタル料、食費等）

後期 9,000円程度（寝具クリーニング料、食費等）

※費用については、昨今の物価高騰等の影響を受け変動する可能性があります。

※後期研修については、宿泊費が別途かかります。

※前期後期ともに、初日に交流会を予定しています。

7. 申込み 令和8年4月10日（金）必着

申込書（Word）に必要事項を全て入力し、メールにて申込書を送付してください。

（宛先：musashino.kensyu@cfa.go.jp）

※必要事項が全て記入されていない場合、受け付けられないことがあります。

なお、やむを得ない場合のみ、PDF又は郵送でも受け付けます。

※ここ数年、各自治体間のメールシステム・セキュリティシステムの違いから、ファイルを添付すると届かないという事態が何件あり、申込みが漏れるということがありました。メール送信の際には、開封通知をつけるなど、確認がとれるようにして申込みに漏れがないようしていただけますようお願いいたします。

全国児童自立支援施設 スーパーバイザー研修 「こどもの育ちをつなぐまなざしをもつスーパーバイザーとは」

1. テーマ 「こどもの育ちをつなぐまなざしをもつスーパーバイザーとは」
2. 目的 こどもの育ちをつなぐ施設文化を構築できるようなチーム養育とケースマネジメント、スーパーバイズのあり方を学ぶ研修
3. 対象者 スーパーバイザー等指導的立場にある者（課長・係長級・スーパーバイザー等）
4. 期間 令和8年11月4日（水）～11月6日（金）
5. 場所 国立武蔵野学院（宿泊研修）
6. 内容（1）事前レポート課題「こどもの育ちをつなぐためのスーパーバイズのあり方」（仮）
（2）講義及び演習
児童家庭福祉行政、児童自立支援運営論、ケースマネジメント、スーパーバイズのあり方、チーム養育、人材育成、こどもの権利擁護、被措置児童等虐待の防止、また、研修日程中に国立武蔵野学院の見学も予定している。
7. 費用 21,000円程度（寝具レンタル料、食費等）
※初日に交流会を予定しています。
8. 申込 令和8年5月29日（金）必着
申込書（Word）に必要事項を全て入力し、メールにて申込書を送付してください。
（宛先：musashino.kensyu@cfa.go.jp）
※必要事項が全て記入されていない場合、受け付けられないことがあります。
なお、やむを得ない場合のみ、PDF又は郵送でも受け付けます。
※ここ数年、各自治体間のメールシステム・セキュリティシステムの違いから、ファイルを添付すると届かないという事態が何件もあり、申込みが漏れるということがありました。メール送信の際には、開封通知をつけるなど、確認がとれるようにして申込みに漏れないようしていただけますようお願いいたします。

全国児童自立支援施設 中堅職員研修コースⅠ

「児童自立支援施設においてこどもの想いを聴くこととは」

1. テーマ 「児童自立支援施設においてこどもの想いを聴くこととは」
2. 目的 専門性をより向上させるための高度な知識と技術を学ぶステップアップ研修
3. 対象者 児童自立支援施設での勤務経験が原則2年以上のケアワーカー・心理職員・教員など
4. 期間 令和8年9月14日（月）～9月17日（木）
5. 場所 国立武蔵野学院（宿泊研修）
6. 内容 (1) 事前レポート課題「こどもの想いを聴くこととは」（仮）
「事例レポート」（仮）

(2) 講義及び演習
児童家庭福祉行政、こどもの育ちのアセスメント、児童自立支援施設におけるチーム養育、こどもの権利擁護、被措置児童等虐待の防止、機関連携、事例検討などを通して、中堅職員としてのスキルアップを図る。また、研修日程中に国立武蔵野学院の見学も予定している。
6. 費用 21,000円程度（寝具レンタル料、食費等）
※初日に交流会を予定しています。
7. 申込み 令和8年5月29日（金）必着
申込書（Word）に必要事項を全て入力し、メールにて申込書を送付してください。
(宛先：musashino.kensyu@cfa.go.jp)
※必要事項が全て記入されていない場合、受け付けられないことがあります。
なお、やむを得ない場合のみ、PDF又は郵送でも受け付けます。
※ここ数年、各自治体間のメールシステム・セキュリティシステムの違いから、ファイルを添付すると届かないという事態が何件もあり、申込みが漏れるということがありました。メール送信の際には、開封通知をつけるなど、確認がとれるようにして申込みに漏れがないようにしていただけますようお願いいたします。

全国児童自立支援施設 中堅職員研修コースⅡ

「こどもの未来を支える養育とソーシャルワーク」

1. テーマ 「こどもの未来を支える養育とソーシャルワーク」
2. 目的 専門性をより向上させるための高度な知識と技術を学ぶステップアップ研修
3. 対象者 児童自立支援施設での勤務経験が原則2年以上のケアワーカー・心理職員・教員など
4. 期間 令和9年1月19日（火）～1月22日（金）
5. 場所 国立武蔵野学院（宿泊研修）
6. 内容 (1) 事前レポート課題「こどもの未来を支える養育とソーシャルワークの現状と課題」（仮）
「事例レポート」（仮）

(2) 講義及び演習
児童家庭福祉行政、こどもと家族のアセスメント、児童自立支援施設におけるソーシャルワークとは、関係機関連携、こどもの権利擁護と被措置児童等虐待の防止、事例検討などを通してこどもと家族の理解、ソーシャルワークに関する理解を深め、スキルアップを図る。また、研修日程中に国立武蔵野学院の見学も予定している。
6. 費用 21,000円程度（寝具レンタル料、食費等）
※初日に交流会を予定しています。
7. 申込み 令和8年5月29日（金）必着
申込書（Word）に必要事項を全て入力し、メールにて申込書を送付してください。
（宛先：musashino.kensyu@cfa.go.jp）
※必要事項が全て記入されていない場合、受け付けられないことがあります。
なお、やむを得ない場合のみ、PDF又は郵送でも受け付けます。
※ここ数年、各自治体間のメールシステム・セキュリティシステムの違いから、ファイルを添付すると届かないという事態が何件もあり、申込みが漏れるということがありました。メール送信の際には、開封通知をつけるなど、確認がとれるようにして申込みが漏れないようしていただけますようお願いいたします。

全国児童自立支援施設 中堅職員研修コースⅢ 「こどもを支える養育環境と職員のメンタルヘルス」

1. テーマ 「こどもを支える養育環境と職員のメンタルヘルス」
2. 目的 専門性をより向上させるための高度な知識と技術を学ぶステップアップ研修
3. 対象者 児童自立支援施設での勤務経験が原則2年以上のケアワーカー・心理職員・教員など
4. 期間 令和8年8月4日（火）～8月7日（金）
5. 場所 国立きぬ川学院（宿泊研修）
6. 内容 (1) 事前レポート課題「各施設における職員のメンタルヘルスの現状と課題」（仮）
(2) 講義及び演習
児童家庭福祉行政、ストレスのメカニズムへの理解、各施設の現状と課題の共有、アンガーマネジメント、対話スキルアップ（傾聴・アサーティブ・フィードバック）、支援制度と資源の活用、メンタル不調の早期発見と組織マネジメント、児童自立支援施設におけるメンタルヘルス、休職に至った背景と職場復帰までのプロセス、ロールプレイ、職員を守る立場としてこどもも職員も生きる施設とはなにかをテーマにしたグループワークなどを通し、ストレスへの理解と組織としてのマネジメントのスキルアップを図る。また、研修日程中に国立きぬ川学院の見学も予定している。
7. 費用 7,000円程度（寝具クリーニング料、食費等）
※初日に交流会を予定しています。
8. 申込み 令和8年5月29日（金）必着
申込書（Word）に必要事項を全て入力し、メールにて申込書を送付してください。
（宛先：musashino.kensyu@cfa.go.jp）
※必要事項が全て記入されていない場合、受け付けられないことがあります。
なお、やむを得ない場合のみ、PDF又は郵送でも受け付けます。
※ここ数年、各自治体間のメールシステム・セキュリティシステムの違いから、ファイルを添付すると届かないという事態が何件もあり、申込みが漏れるということがありました。メール送信の際には、開封通知をつけるなど、確認がとれるようにして申込みに漏れないようにしていただけますようお願いいたします。

全国児童自立支援施設 中堅職員研修コースⅣ 「性被害の理解と支援」

1. テーマ 「性被害の理解と支援」
2. 目的 専門性をより向上させるための高度な知識と技術を学ぶステップアップ研修
3. 対象者 児童自立支援施設での勤務経験が原則2年以上のケアワーカー・心理職員・教員など
4. 期間 令和8年9月1日（火）～9月4日（金）
5. 場所 国立きぬ川学院（宿泊研修）
6. 内容 (1) 事前レポート課題「事例レポート～性被害を受けたこどもへの対応～」
(2) 講義及び演習
児童家庭福祉行政、こどもの権利擁護と被措置児童等虐待の防止、性被害を受けたこどもの理解と生活支援、性被害を受けたこどもと支援者のための心理教育、生活内でこどもから性被害の開示があったときの対応、関係機関連携などの講義、演習を通して、性被害体験を抱えるこどもへの理解を深め、スキルアップを図る。また、研修日程中に国立きぬ川学院の見学も予定している。
7. 費用 7,000円程度（寝具クリーニング料、食費等）
※初日に交流会を予定しています。
8. 申込み 令和8年5月29日（金）必着
申込書（Word）に必要事項を全て入力し、メールにて申込書を送付してください。
(宛先：musashino.kensyu@cfa.go.jp)
※必要事項が全て記入されていない場合、受け付けられないことがあります。
なお、やむを得ない場合のみ、PDF又は郵送でも受け付けます。
※ここ数年、各自治体間のメールシステム・セキュリティシステムの違いから、ファイルを添付すると届かないという事態が何件もあり、申込みが漏れるということがありました。メール送信の際には、開封通知をつけるなど、確認がとれるようにして申込みに漏れないようにしていただけますようお願いいたします。

全国児童自立支援施設 中堅職員研修 実習コース

「こどもの想いをとらえる養育とは」

1. 目的 実習を中心としたプログラムにより、こどもの理解、具体的な支援を学ぶステップアップ研修
2. 対象者 児童自立支援施設での勤務経験が原則2年以上のケアワーカー・心理職員・教員など
3. 期間 1グループ（国立武蔵野学院）令和8年9月29日（火）～10月 2日（金）
2グループ（国立きぬ川学院）令和8年12月8日（火）～12月11日（金）
4. 場所 1グループ・・・国立武蔵野学院（宿泊研修）
2グループ・・・国立きぬ川学院（宿泊研修）
5. 内容 (1) 事前レポート課題「こどもの想いをとらえる養育とは」（仮）

(2) <1グループ> 国立武蔵野学院
国立武蔵野学院概要、施設見学、武蔵野学院における寮舎運営、武蔵野学院における学校教育、寮舎実習など

<2グループ> 国立きぬ川学院
国立きぬ川学院概要、性被害を受けたこどもの理解と生活支援、距離感のワーク、寮舎実習など
6. 費用 <1グループ> 14,000円程度（寝具レンタル料、食費等）
<2グループ> 7,000円程度（寝具クリーニング料、食費等）
※初日に交流会を予定しています。
7. 申込み 令和8年5月29日（金）必着
申込書（Word）に必要事項を全て入力し、メールにて申込書を送付してください。
（宛先：musashino.kensyu@cfa.go.jp）
※必要事項が全て記入されていない場合、受け付けられないことがあります。
なお、やむを得ない場合のみ、PDF又は郵送でも受け付けます。
※ここ数年、各自治体間のメールシステム・セキュリティシステムの違いから、ファイルを添付すると届かないという事態が何件もあり、申込みが漏れるということがありました。メール送信の際には、開封通知をつけるなど、確認がとれるようにして申込みに漏れがないようにしていただけますようお願いいたします。

全国児童自立支援施設 新任職員研修 「児童自立支援施設におけるこどもと職員の育ち」

1. 目的 児童自立支援施設における基本的な心構え、知識、技術を学ぶ基礎研修（講義と演習）
2. 対象者 児童自立支援施設での勤務経験が原則2年未満の者
3. 期間 前期 令和8年 7月22日（水）～ 7月24日（金）
OJT 令和8年 7月25日（土）～ 令和9年 2月 2日（火）
後期 令和9年 2月 3日（水）～ 2月 5日（金）
※前後期とも必修
4. 場所 前期 国立武蔵野学院（宿泊研修）
OJT 各自施設
後期 国立武蔵野学院（宿泊研修）
5. 内容 (1) 事前レポート課題
前期 「児童自立支援施設で働くうえでのやりがいと困難」等（予定）
後期 前期研修で決定、事例レポート（予定）

(2) 講義及び演習
児童自立支援概論、こどもと家族のアセスメント、こどもの育ちのための養育、児童自立支援施設の養育者としての役割、国立武蔵野学院における寮舎運営、関係機関連携などの講義を通して日々の養育に関する理解を深め、またグループ討議などを通して、情報交換、意見交換を行い、日々の業務を振り返ることで、スキルアップを図る。
6. 費用 前期 16,000円程度（寝具レンタル料、食費等）
後期 16,000円程度（寝具レンタル料、食費等）
※前期後期ともに、初日に交流会を予定しています。
7. 申込み 令和8年4月17日（金）必着
申込書（Word）に必要事項を全て入力し、メールにて申込書を送付してください。
(宛先：musashino.kensyu@cfa.go.jp)
※必要事項が全て記入されていない場合、受け付けられないことがあります。
なお、やむを得ない場合のみ、PDF又は郵送でも受け付けます。
※ここ数年、各自治体間のメールシステム・セキュリティシステムの違いから、ファイルを添付すると届かないという事態が何件もあり、申込みが漏れるということがありました。メール送信の際には、開封通知をつけるなど、確認がとれるようにして申込みが漏れないようにしていただけますようお願いいたします。

全国児童自立支援施設 新任職員研修 実習コース

「児童自立支援施設におけるこどもと職員の育ち」

1. 目的 児童自立支援施設における基本的な心構え、知識、技術を学ぶ基礎研修
(講義・演習と寮舎実習)
2. 対象者 児童自立支援施設で勤務経験が原則2年未満の者
3. 期間

1グループ	令和8年	6月9日(火)	～	6月12日(金)
2グループ	令和8年	6月23日(火)	～	6月26日(金)
3グループ	令和8年	7月7日(火)	～	7月10日(金)
4グループ	令和8年	6月2日(火)	～	6月5日(金)
5グループ	令和8年	6月16日(火)	～	6月19日(金)
6グループ	令和8年	11月24日(火)	～	11月27日(金)
7グループ	令和9年	1月12日(火)	～	1月15日(金)
8グループ	令和9年	1月26日(火)	～	1月29日(金)
4. 場所

1・2・3グループ	・・・	国立武蔵野学院
4・5・6・7・8グループ	・・・	国立きぬ川学院
5. 内容
 - (1) 事前レポート課題「児童自立支援施設で働くうえでのやりがいと困難」等(予定)
 - (2) 第1～3グループ(国立武蔵野学院)
国立武蔵野学院概要、施設見学、寮舎実習、国立武蔵野学院における寮舎運営、学校教育など
 - (3) 第4～8グループ(国立きぬ川学院)
国立きぬ川学院概要、施設見学、寮舎実習、国立きぬ川学院における寮舎運営、学校教育など
6. 費用

<第1～3グループ>	14,000円程度(寝具レンタル料、食費等)
<第4～6グループ>	7,000円程度(寝具クリーニング料、食費等)

※各研修、初日に交流会を予定しています。
7. 申込み 令和8年4月17日(金) 必着
申込書(Word)に必要事項を全て入力し、メールにて申込書を送付してください。
(宛先: musashino.kensyu@cfa.go.jp)
※必要事項が全て記入されていない場合、受け付けられないことがあります。
なお、やむを得ない場合のみ、PDF又は郵送でも受け付けます。
※ここ数年、各自治体間のメールシステム・セキュリティシステムの違いから、ファイルを添付すると届かないという事態が何件もあり、申込みが漏れるということがありました。
メール送信の際には、開封通知をつけるなど、確認がとれるようにして申込みが漏れないようにしていただけますようお願いいたします。

全国児童自立支援施設 連続事例検討セミナー
「児童自立支援施設におけるケースカンファレンスのあり方
～こどもと職員の育ちのために～」
(参集型とオンラインの組合せ)

1. 目的 一年間、同一参加者で事例検討を中心としたプログラムを行うことで、こどもの理解を深め、ケースカンファレンスのあり方を学ぶ研修
2. 対象者 児童自立支援施設勤務5年以上の者、または指導的立場にある者（寮担当など直接処遇職員）。
3. 期間
初回 令和8年 5月26日（火）、27日（水） [国立武蔵野学院]
2回～7回 令和8年6月～令和9年2月の間で月1回（2時間）程度開催 [オンライン]
※回数は参加者数による
※日程は初回に決定
最終回 令和9年 3月2日（火）、3日（水） [国立武蔵野学院]
4. 場所 武蔵野学院およびオンライン
5. 内容
(1) 初回
参加者が一堂に会して研修の目的を確認し、事例検討の意義等について外部講師（スーパーバイザー）による講義を受講する。また、実際に事例検討を行う。
- (2) オンライン事例検討（6月～2月）
毎回参加者が事例を提出し、1事例2時間の枠で、こどもと家族の理解や支援方針を深める。
原則参加者は一人1事例を提出し、外部講師（精神科医、直接処遇経験の長い方）によるスーパーバイズを受けながら、他の参加者ととも事例検討を行う。
- (3) 最終回
最後の事例検討を行い、参加者、外部講師を含め1年間の振り返りを行う。
- ◎本研修は、担当している事例を改めてまとめて発表することを通して、参加者自身の実践、こどもへの関わり、支援者としてのあり方を振り返ることを目的としている。
- ◎検討会は助言者からだけでなく、参加者同士での議論も含まれる。自身の事例について、様々な角度で意見をもらうことは今後の支援の展開にも豊かな結果をもたらす。
- ◎本研修における個々の事例検討会は、提出した事例の展開、関わりが正しかったか否かを検討することが目的ではなく、参加者自身が自らの実践を振り返ること、そして明日からできることを検討するものである。
- ◎自身の事例だけでなく、他の参加者の事例を通して自らの実践を振り返ることにも本研修の特徴がある。
- ◎こうした事例検討の取り組みが参加者自身だけでなく、参加者の所属施設に良い影響をもたらすことも本研修の期待するところである。
6. 費用
初回、最終回 各回11,000円程度（寝具レンタル料、食費等）
オンライン 無料
※初回（5月）、最終回（3月）に交流会を予定しています。

7. 申込み

令和8年4月13日（月）必着

申込書（Word）に必要事項を全て入力し、メールにて申込書を送付してください。

（宛先：musashino.kensyu@cfa.go.jp）

※必要事項が全て記入されていない場合、受け付けられないことがあります。

なお、やむを得ない場合のみ、PDF 又は郵送でも受け付けます。

※ここ数年、各自治体間のメールシステム・セキュリティシステムの違いから、ファイルを添付すると届かないという事態が何件もあり、申込みが漏れるということがありました。メール送信の際には、開封通知をつけるなど、確認がとれるようにして申込みが漏れないようにしていただけますようお願いいたします。